

へ 桂川駅 来る

Keisen
Topics

02

昭和15年、桂川町と時を同じくして誕生した桂川駅
それから70年、桂川駅はより便利に進化してきました。

そしてこれからも……

桂川駅は、昭和15年に筑豊本線長尾駅が改称してできた駅で、当時は黒い煙を上げながら力強く貨車を引っ張るSLが往来していました。福岡・博多へは、鹿児島本線原田駅で乗り換える（現在の原田線路線がなく、冬の凍結時期などの冷水峠越えは、線路に砂をまいて滑り止めをし、ゆっくと越えていました。昭和43年の篠栗トンネル開通、そしてディーゼル気動車の登場で桂川ー博多間の移動にかかる時間は約半分に。さらに、より効率的な列車運行ダイヤの見直しや平成13年の電化、特急の運行で、桂川ー博多間はより速く、より近くなりました。今では、多くの労働者が働いていた灰坑の町から「労働は都市で！生活は住み良い桂川町で！」と、まちの様子も大きく変化してきました。

都市と町を結ぶ 列車の物語



昭和20年代
SL
(原田駅経由)
約 100分



昭和40年代
気動車
(篠栗線)
約 60分



平成10年代
赤い快速
(篠栗線)
約 45分



現在
シティ通勤ター
(篠栗線)
約 35分



現在
特急「かいおう」
(篠栗線)
約 25分



時代と共に身近になる都会
かつて博多駅までSLで100分かかっていましたが、今では最短25分。
通勤通学や買い物にも、とても便利になりました。

